

農地・水・環境保全向上対策の 取り組み事例紹介

農地・水・環境保全向上対策についての情報等は、水土里ネットみえのホームページを参照して下さい。(http://www.miedoren.or.jp/index.html)

なお、三重県農地・水・環境保全向上対策協議会では、地域の取組情報収集を行っています。各種イベントの日時や開催内容等情報をお待ちしております。

可能な限り、「みえの土地改良」や「ホームページ」に掲載し、活動組織間の連携に繋げていきたいと思っております。

むらおこし・おいず
むらおこし・かみみいと
むらおこし・しもみいと
むらおこし・さいくう祓川
むらおこし・みょうじょう

(多気郡明和町)

多気郡明和町は、伊勢平野の南部に位置し、町内を西から櫛田川の分流である祓川、中央部を笹笛川、伊勢市との境を大堀川が伊勢湾に注ぐ代表的な水田地域であり、良質米の生産地域である。沿岸漁業としても海苔養殖・アサリ等採貝漁業が地場産業となっていることから、農地から海に至る、代かき時の濁水が河川・海に及ぼす影響が心配されている。

また、櫛田川の派川祓川は、河畔林を多く残し、タナゴ等



浅水

の貴重な生物が生息し、日本の重要湿地500選に選ばれ、
斎王が禊ぎを行ったとの歴史、文化を持った河川である。

このようなことから、5つの活動組織が主体となり、明和町の
水田を対象に、代かき時の濁水を減らすため、浅水による
代かきを行い、啓発を行っている。

具体的には、水量を土が7～8割程度見える量で行い、人
がゆっくり歩く程度の早さで走行し、1行程で仕上げを行う
ようチラシを全農家に配布し、海を守り、川を守り、自然を守る
ように啓発活動を行っている。

浅水代かきを全町で行うように普及に進め、限られた資源
を生かし、守るため、農地・水・環境の保全に寄与したい。



浅水代掻き

緑豊かな北小松を守る会

(四日市市北小松)

本地域では、農地・水・環境保全向上対策事業に取り組む以前から全戸参加で春・秋の井さらえを出会い作業で、また、お盆前・年末には全戸参加により町内の水路等の清掃活動を行ってきた。

この事業を契機に、美しい農村計画を形成することを目的



足踏み式脱穀機を使った収穫状況



三世代による田植えをケーブルテレビが取材

として、『桜の木の植栽』『旧来からの農法を取り入れた三世代交流稲作』等を行って、地域住民の憩いの場・交流の場をつくり「個性ある町づくり」を目指して活動を行っている。

旧来からの農法を取り入れた三世代交流稲作での田植えや、足踏み式脱穀機を使った収穫等を行い、老若男女和気あいあいとした模様がケーブルテレビや新聞に掲載された。

三和集落資源エコ隊

(東員町三和地域)

本地域の8割が里山内にあるが、竹林が多く点在し、里山への竹の入り込みによる里山の崩壊が危惧されている。

里山の保存の意味もかねて、地域内で竹炭の製造が行われており、これを利用して排水路の水質浄化を進めている。

活動として看板の設置により啓発活動を行い、地域内の排水路7カ所に竹炭を設置し、9カ所での水質モニタリングを目視及び簡易分析機で水質検査を行った。

また、年1回の勉強会も開き、水質保全活動をより強固なものとした。

他に、メダカ池の草刈りや泥上げ等の管理を行うと共に、地元小学校の生徒と共に、勉強会や生物観察を行い、生態系の保全にも力をそそいでいる。



簡易分析器を用いてのモニタリング



看板設置による啓発活動



竹炭の設置状況